平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　ニチモウ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8091　URL　http://www.nichimo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 小池　由紀夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長　(氏名) 八下田　良知　TEL 03-3458-3530

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	21,169	4.3	△1	―	25	△55.9	△37	―
23年3月期第1四半期	20,296	△3.1	△6	―	57	―	32	―

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　△23百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△205百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△1.09	―
23年3月期第1四半期	0.95	0.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	54,606	12,036	22.0
23年3月期	47,641	12,101	25.3

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　12,006百万円　23年3月期　12,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	―	―
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		―	―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	2.1	100	△77.9	100	△78.5	50	△87.1	1.47
通期	93,000	9.2	750	△11.6	500	△29.6	400	―	11.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	37,874,000 株	23年3月期	37,874,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,886,973 株	23年3月期	3,886,973 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	33,987,027 株	23年3月期1Q	33,950,193 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・２
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・２
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・３
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・３
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・３
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・３
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・３
(4) 追加情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・６
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・６
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・７
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・８
(4) セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・８

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により生産や輸出が減少するなど厳しい状況となりました。また、原子力発電所の事故における企業活動への影響や食品・健康への不安が与える個人消費への影響が懸念されるなど、景気の先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきましても、震災の影響より消費者の節約志向が続く引き続き厳しい状況下におかれました。

こうした情勢のもと、当社グループの当第１四半期連結累計期間における売上高は211億69百万円（前年同期比８億72百万円の増加）、営業損失は１百万円（前年同期比４百万円の増加）、経常利益は25百万円（前年同期比32百万円の減少）、四半期純損失は37百万円（前年同期比69百万円の減少）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①食品事業

食品事業におきましては、仙台地区の食品販売が震災の影響を受け低迷をいたしましたが、全国的には助子や凍魚の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高ならびにセグメント利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は135億55百万円（前年同期比７億47百万円の増加）セグメント利益は２億６百万円（前年同期比１億82百万円の増加）となりました。

②海洋事業

海洋事業におきましても、東北地区の漁具販売が震災の影響により低迷をいたしました。また、前年同期は米国内での陸上ネットの大型受注があったことなどもあり、売上高ならびにセグメント利益は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は31億60百万円（前年同期比４億66百万円の減少）セグメント利益は38百万円（前年同期比77百万円の減少）となりました。

③機械事業

機械事業におきましては、大型豆腐プラントの受注が第２四半期にずれたことなどにより、売上高ならびにセグメント利益は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は14億３百万円（前年同期比１億17百万円の減少）セグメント利益は23百万円（前年同期比74百万円の減少）となりました。

④資材事業

資材事業におきましては、化成品事業の特殊フィルムなどの受注増などにより、売上高ならびにセグメント利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、売上高は24億３百万円（前年同期比１億61百万円の増加）セグメント利益は42百万円（前年同期比６百万円の増加）となりました。

⑤バイオティックス事業

バイオティックス事業におきましては、新商品の投入などもあり、売上高ならびにセグメント利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は61百万円（前年同期比３百万円の増加）セグメント損失は３百万円（前年同期比２百万円の増加）となりました。

⑥物流事業

物流事業におきましては、売上原価の削減に努めましたが、売上高は５億50百万円セグメント損失は59百万円となりました。

⑦その他

その他の事業といたしましては、不動産の賃貸、生命保険および損害保険の代理業を行っており、売上高は33百万円（前年同期比５百万円の減少）セグメント利益は17百万円（前年同期並み）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第１四半期連結会計期間末における総資産は546億６百万円（前連結会計年度比14.6%増）となりました。

総資産の増加は、主として売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

(総負債)

当第１四半期連結会計期間末における総負債は425億69百万円（前連結会計年度比19.7%増）となりました。

総負債の増加は、主として仕入債務及び短期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産は120億36百万円（前連結会計年度比0.5%減）となりました。

純資産の減少は、主として四半期純損失によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の業績予想につきましては、前回公表（平成23年５月13日）いたしました連結予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,848	5,883
受取手形及び売掛金	13,319	14,649
商品及び製品	11,085	16,087
仕掛品	495	735
原材料及び貯蔵品	1,916	2,103
繰延税金資産	88	38
その他	2,081	2,430
貸倒引当金	△131	△121
流動資産合計	34,704	41,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,508	6,521
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,770	△4,805
建物及び構築物（純額）	1,738	1,716
機械装置及び運搬具	4,153	4,173
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,165	△3,221
機械装置及び運搬具（純額）	987	951
工具、器具及び備品	563	571
減価償却累計額及び減損損失累計額	△473	△481
工具、器具及び備品（純額）	89	89
土地	2,247	2,246
建設仮勘定	233	272
有形固定資産合計	5,297	5,275
無形固定資産		
のれん	177	167
その他	126	124
無形固定資産合計	304	292
投資その他の資産		
投資有価証券	5,881	5,910
長期貸付金	187	185
破産更生債権等	2,400	2,224
その他	751	780
貸倒引当金	△1,899	△1,879
投資その他の資産合計	7,322	7,222
固定資産合計	12,923	12,790
繰延資産		
社債発行費	12	8
繰延資産合計	12	8
資産合計	47,641	54,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,497	9,305
短期借入金	16,797	23,298
1年内償還予定の社債	3,625	3,625
1年内返済予定の長期借入金	755	740
未払法人税等	61	22
賞与引当金	358	182
事業構造改善引当金	143	143
災害損失引当金	120	131
その他	930	1,010
流動負債合計	31,289	38,460
固定負債		
社債	125	125
長期借入金	3,161	2,985
長期未払金	77	69
繰延税金負債	65	99
退職給付引当金	422	431
役員退職慰労引当金	92	103
負ののれん	116	105
その他	188	189
固定負債合計	4,249	4,108
負債合計	35,539	42,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,411
資本剰余金	22	22
利益剰余金	9,202	9,123
自己株式	△1,104	△1,104
株主資本合計	12,531	12,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378	421
繰延ヘッジ損益	0	△9
為替換算調整勘定	△838	△858
その他の包括利益累計額合計	△459	△446
新株予約権	30	30
少数株主持分	0	0
純資産合計	12,101	12,036
負債純資産合計	47,641	54,606

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
売上高	20,296	21,169
売上原価	18,510	19,468
売上総利益	1,786	1,701
販売費及び一般管理費	1,792	1,702
営業損失（△）	△6	△1
営業外収益		
受取利息	10	4
受取配当金	91	70
持分法による投資利益	89	54
その他	29	47
営業外収益合計	220	176
営業外費用		
支払利息	131	134
貸倒引当金繰入額	－	△0
その他	26	16
営業外費用合計	157	150
経常利益	57	25
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8	－
役員退職慰労引当金戻入額	8	－
特別利益合計	17	－
特別損失		
子会社整理損	41	－
特別損失合計	41	－
税金等調整前四半期純利益	33	25
法人税、住民税及び事業税	11	12
法人税等調整額	△10	50
法人税等合計	1	62
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	32	△37
少数株主利益	0	0
四半期純利益又は四半期純損失（△）	32	△37

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	32	△37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	49
繰延ヘッジ損益	△33	△10
為替換算調整勘定	43	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△6
その他の包括利益合計	△237	13
四半期包括利益	△205	△23
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205	△23
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
【セグメント情報】
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他（注）1	合計	調整額（注）2	連結財務諸表計上額（注）3
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,807	3,627	1,521	2,242	57	20,256	39	20,296	－	20,296
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	133	－	－	－	133	－	133	△133	－
計	12,807	3,761	1,521	2,242	57	20,390	39	20,429	△133	20,296
セグメント利益又は損失（△）	23	115	98	35	△5	267	18	286	△292	△6

（注）1.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。
2.セグメント利益の調整額△292百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間当連結会計年度（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他（注）1	合計	調整額（注）2	連結財務諸表計上額（注）3
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオティックス事業	物流事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	13,555	3,160	1,403	2,403	61	550	21,135	33	21,169	－	21,169
セグメント間の内部売上高又は振替高	20	－	－	－	－	－	20	－	20	△20	－
計	13,575	3,160	1,403	2,403	61	550	21,155	33	21,189	△20	21,169
セグメント利益又は損失（△）	206	38	23	42	△3	△59	247	17	265	△266	△1

（注）1.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。
2.セグメント利益の調整額△266百万円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。